SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

								主な	SDGs	(17ゴ-	-ルと169	ターゲッ	ト)関連項	i目	
h	ヮー	非該		取組	具体的な取組	1	2 3		6	7	8 9			14 15	16 17
ı	ΪÚ	非該 当	チェック項目	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)					7 *******					
		-			所せて記載してください。)	155 25 M+1-1	3 20122	4 mm 5 mm	_	0	M	10 cm 2** 11 m 2** 11	IS OFFE TO SERVE TO S	M #85 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	17
			【差別の禁止】					5	1		8.5	100			16.1
1			・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差	基本	CSR遂行に向けた行動規範を定め、差別と不公平な処遇の禁止 を明示し教育している。また、社内連携ホットラインによる通報制度			5			8.7	10.2			16.2
			別がないことを確認している		を導入している。			5			8.8	10.3			16.7
			F. = - 15 1 # 43					5							
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備	基本	CSR遂行に向けた行動規範を定め、嫌がらせの禁止について明示 し教育している。また、社内連携ホットラインによる通報制度を導入			5			8.5				16.1
-			している	<u> </u>	している。			5			8.8				10.1
	H								3						
2			【労働時間】	基本	36協定の写しを全社員に配布し、ワークシェアリングの推進と長時間労働防止について啓発している。また、所定休日に連続して指定						8.5				
3			・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	本 本							8.8				
	H														
			【外国人労働者】	++	CSR遂行に向けた行動規範を定め、人種、国籍等による差別や人権侵害を行わないことを明記している。現在、雇用している外国人						8.7	10.2			
4			・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	権侵害を行わないことを明記している。現在、雇用している外国人 労働者はいない。			4.4			8.8	10.3			
	.		【労働安全衛生】	<u></u> .	安全衛生年間計画書の写しを全社員に配布し、月例安全衛生教										
5	人 権		・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	育、安全パトロール等を実施している。また、労働安全衛生法に基づく技能講習や特別教育を継続的に実施している。		3				8				
	11E				- 八人の心は日(「リグリスト日と中心のは」が一人があること。										
	労														
6	動		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	相談窓口を兼ねたメンタルヘルス推進担当者を置き、保険付帯サポートを活用する等によりメンタルヘルス対策に取り組んでいる。		3								
			万国日のアンファルー・ルバと及外に配引ってこるのうに対象に扱う通りでする		The result of the state of the										
			【ダイバーシティ経営】		京松·老·以上从·尔杜·从上可读1.4. 阳坦·古·人·佐·四·1. 严·(唐·拉·// / / / / / / / / / / / / / / / / /			_	_						
7			・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取	基本	高齢者や女性の特性に配慮した現場安全管理と環境整備を推進している。			5			8.5	10.2			
			り組んでいる		【予定】女性の社員比率と管理職比率を引き上げる。			5	5			10.3			
8			【人材育成】	基本	国家資格の取得を奨励し、講習や受験に関わる費用を会社が負担している。また、CPD制度等を活用し、技術者と技能者に継続的			4 5	5		8 9				
			・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している		な学習や訓練の機会を提供している。										
9			【公正な待遇】	基本	 同一労働同一賃金ガイドラインに沿った対応を行っている。			5	5		8.5	10.2			
-			・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している									10.3			
	F														
10			【健康経営】	チャレン	健康診断結果をもとに保健師による指導や医師への受診を促して いる。予防接種の費用を補助し、空調服等の快適作業用品の提供		3				8				
			・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	, , , , ,	や血圧計等の体調管理機器の設置を行っている。										
11			【廃棄物】	基本	産業廃棄物管理責任者を置き、分別と保管を徹底し、産業廃棄物							11.6	12.4	14.1	
''			・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	- 本本	管理票(マニフェスト)によって適切に運搬し処理している。							11.0	12.4	14.1	
	-														
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】	#+	電気使用量、燃料使用量を記録している。					7.3			13		
12			・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	电刈ば用里、燃付使用里を記載している。					1.3			13		
	-									+					
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】	基本	電気と灯油の使用量の掲示、エアコン温度指標やアイドリングストッ					7.2			12.4 13.3		
13			・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	本个	プの表示等により温室効果ガスの削減を働きかけている。					7.3			12.4 13.3		
	-		F. I. The state of							+					
14 E	環		【有害化学物質】 - 社会等で担制されている方実化党物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組入。	#+	ー 石綿作業主任者、有機溶剤作業主任者、危険物取扱者等の資格		3.9		6.3			11.0	5 12.4		
14 1	境		・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	者を配置し、適切に使用している。		3.9		0.3			11.6	12.4		
	F									+					
			【生物多様性】		エコ資材の採用、燃料や塗料の流出防止措置、茶殻の堆肥化、会										
15			・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	工				6.6					15	
			【2Dの推准】		 3RにRealize(実現)を加えた4R運動を展開して、廃棄物の減量、										
16			【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	分別、資源化に努めている。資源化によって得られた収入に応じ								12.5	14.1	
			, , _ , , , _ , , , , , , , , , , , , ,		て、社員の親睦団体に助成金を提供している。										
									C 4						
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンシ	水道使用量を掲示して節水を働きかけている。				6.4						
			小丸脈や門内仏がで過ぎた日本し、利力効率の以音に取り種のでいる						0.0						
					· ·	1	1			•					1 1

カテ	・非該	- 6-7-0	取組 具体的な取組	1	2 3	主なSI 4 5					デット)		15	16 17
ゴリ	・ 非該 当	チェック項目	」 ☆ 」 (県などの取得認証かあれば、 □	1.0% fetti	2 === 3 ===============================	1 mil 5 mil 1	6 ::::		6 HIII		N II	13 Marie N		
18		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		3.9		6	7			12	13.3 14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ								12.6			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ 商材である太陽光発電システムと蓄電池の導入を推奨している。					7.2				13		
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ								12.2	13 14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	CSR遂行に向けた行動規範を定め、贈収賄の禁止と関連方針を 基本 明示し教育している。また、社内連携ホットラインによる通報制度を 導入している。											16
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	CSR遂行に向けた行動規範を定め、公正取引の推進と関連方針 基本 を明示し教育している。また、社内連携ホットラインによる通報制度 を導入している。											16
24 公 正		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	CSR遂行に向けた行動規範を定め、知的財産の保護と独占権の 尊重を明示し教育している。また、社内連携ホットラインによる通報 制度を導入している。						8.2 8.3	9				
な 事業 慣行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	CSR遂行に向けた行動規範を定め、個人情報の管理と保有情報 基本 の使用方針について明示し教育している。また、社内連携ホットラインによる通報制度を導入している。											16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ											16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	CSR遂行に向けた行動規範を定め、協力会社へCSRに関する当チャレンジ社の方針を伝達し、連携してCSRの推進に努めることを明記している。			5			8	10	12	13 14	15	16 17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 CSR遂行に向けた行動規範を定め、安全性の確保など品質管理 に関する方針を明記し、技術基準や施工要領を整備している。		3.9						12.4			
製 29 品 ・サ-		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 CSR遂行に向けた行動規範を定め、検査方法等の品質管理に関する方針を明記し、技術基準や検査要領を整備している。							9				
1 ビ 30 ス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ				6				12	13 14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	1	2 3	4 5	6	7	8	9 10	11 12	13 14	15	16 17

				5.4.4.4.5.45				主	なSDGs	(1)	 	169ター						
	非語		取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	155	2	-	4	5 ©	6	8	9 10			3 14		16	
32	k+	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	会社所在地区の役員の皆様との交流があり、外灯の整備や行事等 への寄付を行っている。会社周辺の範囲まで清掃や補修を行って いる。	\vdash			4	Y		411	9	11	12		.4 15		17
33 域	·会 貢 献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンシ	業界団体や社会貢献団体に加入し、災害協定を締結する他、ボランティア活動や寄付を行っている。				4					11		14	.4 15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンシ	が協力業者(取引先)は地元企業を優先して選定している。							8	9	11	12 13	3			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念や経営方針等を含めた企業思想を文書化し、全社員で 共有しながら水平展開に努めている。							8	9						17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守は、当社が定めるCSR遂行に向けた行動規範の原則となっており、技術規格、安全管理、法定管理者の配置等において実践している。また、掲示等で意識を喚起している。													16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	担当者を配置し、意思決定に至る連係体制を整備している。													16	
38 紹 絹	l Ž	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	顧客、株主、社員、取引先の意見を聴き、会社の方針や対応を決 定している。													16	17
39 第		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンシ	リスクアセスメントを取り入れた危険予知活動や作業手順書の作成を行っている。													16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンシ	CSR遂行に向けた行動規範を定め、社員の啓発に取り組んでいる。													16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンシ	災害協定の履行、事故や火災等への対応、自然災害への対応及 び緊急時の社内連係を文書により社員が共有している。								9	11	13			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンシ								8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 13	14	15	16	17
	ロータリークラブ等を通じて、主に開発途上国の医療や教育の充 実、飲料水の供給等を目的に寄付や活動を行っている。	1	2	3	4		6										17
【社会貢献活動】地域的な社会貢献活動に取り組んでいる。	【予定】廃棄物の資源化で得られた収入に応じて、子ども食堂に寄付を行う。		2.1														17
	【予定】運転経歴に係る証明書を活用し、法令遵守と安全運転を 社員に働きかけ、交通事故の撲滅をはかる。		3.6														

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)